

院内トリアージの実施について

当院では、緊急度・重症度の高い患者さんを優先し医療が提供できるよう院内トリアージ（優先順位の決定）を実施しています。

院内トリアージとは

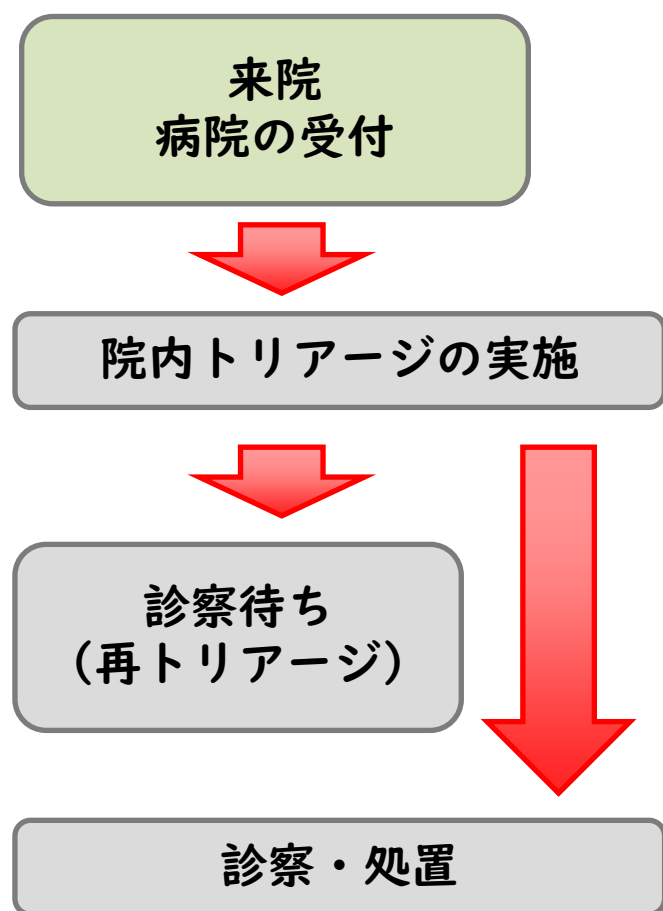
診察室受付にて問診をとり、状態を確認・観察し、緊急度・重症度の高い患者様から優先して診察を行います。緊急度・重症度の高い患者様を優先して診察する為、受付の順番通りの診察ではなくなる場合があります。

（対象時間）

土曜日 12：00～翌朝8：00

日・祝 8：00～翌朝8：00

平日 19：00～翌朝8：00



院内トリアージ 緊急度・重症度判定

レベルⅠ **赤**：診察優先

レベルⅡ **黄**：順番通り
(再トリアージは30分毎に実施)

レベルⅢ **緑**：順番通り
(再トリアージは60分毎に実施)

来院時よりも具合が悪くなってきた方、待ち時間が長くなっている方は、声をかけて下さい。院内トリアージへのご理解とご協力をお願い致します。

院内トリアージ実施基準

2018年4月1日策定
2025年4月1日改訂

1、目的

来院された患者の重症度、緊急度を判断し、優先順位を付けて、生命の危険な状態にある患者を早期に見つけだすことを目的とし、来院後速やかなトリアージを目標開始時間とし、再評価時間は状態により下記の基準で行う。

2、判断基準

トリアージによって、次の3段階に判断する。

赤：直ちに医師へ報告、診察、初療室へ入室し、治療処置を開始する。

黄：待合室にて待機可能か否かを医師に報告、相談し決定する。

待機決定後、診察が始まるまで観察を継続し、待ち時間が長い場合は30分後に再トリアージを行う。

緑：待合室にて待機可能。待ち時間が長い場合は60分後に再トリアージする。

身体的苦痛が強い場合：必要に応じて観察ベッドで待機してもらう。

3、院内トリアージの流れ

1) バイタルサイン測定

2) 問診

3) 主訴の確認と第1印象

気道・呼吸：呼吸が楽に出来ていない

循環・皮膚：顔色、冷汗、冷感、チアノーゼ等はないか

意識・外観：表情、意思疎通が可能か、歩けるか、立っていられるか

4) フィジカルアセスメント

5) トリアージレベルの判断

4、院内トリアージ手順

